平成6年度 月潟村表彰式

平成6年度の村政功労者の表彰式が1月8日、農村環境改善センターで行われました。

今回は、式典と新春講演会を併設したことから、例年とおもむきが一変し、村民のみなさん400人余りを前にしての表彰式となりました。

今年は、19人の方が表彰され、いくぶん緊張ぎみのなか、一人一人に表彰状と記念品が贈られました。表彰された方々を紹介します。

（敬称略）

1　村の行政・教育文化・産業・保健衛生・民生・土木・土地改良・災害・納税・慈善事業・その他公益事業について功労顕著なる者

●田村甚一郎
（多年村嘱託員として尽くされた功績）

●小出　昭吾
（多年露店市場管理員として従事された功績）

●和平　晃
（多年公民館運営審議会委員として尽くされた功績）

●和平　信平
（議長を始め村の要職を歴任された功績）

●五十嵐信次郎
（議員を始め村の要職を歴任された功績）

●間島　慎司
（多年国民年金委員として尽くされた功績）

●田辺　正一
（土地改良区役員として多年土地改良事業に尽くされた功績）

2　満8年以上議会議員の職にあった者

●関本　武夫
（村議会議員として尽くされた功績）

3　村の職員として満20年以上勤続し成績がすぐれ、功労があると認められる者

●田村正法・五十嵐善吉
（昭和49年4月から月潟村職員として勤務）

●棚橋　シズ
（昭和49年5月から月潟村職員として勤務）

4　徳行のすぐれた者

●土田　洋二
（献血100回以上）

●田辺元康・小武内明浩・田中薫
（献血50回以上）

●阿部一人・近藤美枝子
（献血30回以上）

●藤村　和明
（多年、曲駅構内通学路の除雪従事の功績）

5　村に対し、金額または価格20万円以上の寄附をした個人または50万円以上の寄附をした団体

●佐藤　邦夫
（金員の寄附）

受賞者のみなさん、おめでとうございます。これからのご活躍を願っております。

▲表彰者を代表して謝辞をよまれる田辺正一さん

▲就業改善センターでの祝賀会

保健福祉だより 3月

○事業日程

日	曜	事業名	対象	会場
2	木	機能訓練（後遺症者の集い）午前10時から	脳卒中及びそのほかの後遺症者	月寿荘
7	火	定例健康相談 午後1時30分から	一般住民	月寿荘
14	火	予防接種「三混」午後1時30分から	・24か月児から48か月児までの初回該当者 ・追加者 初回接種（3回）終了後12か月から18か月	月寿荘
16	木	予防接種「ポリオ生ワク」午後1時30分から	生後3か月から18か月（ただし48か月児まで予備期間）	月寿荘
17	金	3歳児（内科・歯科）午後1時30分から	H3年12月からH4年3月生まれまで	月寿荘

犬の引き取り日　3日(金)
取り締まり日　17日(金)・24日(金)

♣クローバー教室

日	曜	機能訓練内容
7	火	組ひも・ちぎり絵
28	火	組ひも・ちぎり絵

会場　月寿荘
時間　午後1時30分
バスを運行します。

〈家庭の健康〉

成人病予防週間（2/1～2/7）

10人のうち6人までが3大成人病で死亡する!!

2月に脳卒中による患者が急増することから、成人病全般の予防週間として、昭和34年に厚生省が制定しました。「人生80年時代」といわれるなかで、老化現象を土台にした病気、つまり成人病が増えています。

老化現象は誰にでも訪れます。顔にシワが寄る、歯が抜ける、記憶力が衰えるなど。ただここで気をつけたいのは、この老化現象は個人差が大きいということです。たとえば、30代の後半で運動の衰えを感じる人もいれば、60代になっても活発に運動できる人もいます。これは老化現象としての成人病も同じです。若い頃から病的になる人とならない人の歩んできた健康生活の差ともいえます。そのため成人病は習慣病ともいわれています。

〝守りましょう　予防10か条〟

1 腹八分目を守る
2 野菜を十分にとる
3 食塩を減らす
4 動物性脂肪を控える
5 酒・タバコは控えめに
6 適度な運動を
7 ストレスをためない
8 睡眠を十分に
9 肥満を避ける
10 定期的な健康診断

〝笑いあり、涙あり〟新春講演会

1月8日(日)、月潟村表彰式終了後、農村環境改善センターを会場に新春講演会が開催されました。

会場は、約400人の聴衆で埋まり、講師の桂小金治さんの「人の心に花一輪」と題した笑いあり涙ありの講演に聴きほれ、あっという間の90分でした。

なお、当日回収したアンケート結果は、次号でお知らせします。

みごとな草笛で観客を魅了しました。▶

1時間半の講演も“あっと”いう間にすぎてしまいました。▼